

## 【「6つのルールと18の書き方」とは】

### 1. 「6つのルールと18の書き方」について

「6つのルールと18の書き方」とは、以下に示した「内容が明確に伝わる技術文書の書き方の3原則」の第3原則（内容が明確に伝わる書き方を考える）に対応した内容です。

【内容が明確に伝わる技術文書の書き方の3原則】
◆第1原則：書き手と読み手の違いを認識する
◆第2原則：内容が明確に伝わる構成を考える
◆第3原則：内容が明確に伝わる書き方を考える

「6つのルールと18の書き方」とは以下の内容です。

### 【6つのルールと18の書き方】

ルール		書き方と内容	
ルール1	冒頭を書く	書き方1	要点を冒頭を書く
		書き方2	全体像を冒頭を書く
		書き方3	枠組みを冒頭を書く
ルール2	ペアで書く	書き方4	根拠を書く
		書き方5	条件を書く
ルール3	分けて書く	書き方6	かたまりに分けて書く
		書き方7	箇条書きで書く
		書き方8	表で書く
ルール4	視覚的に書く	書き方9	写真や図を入れて書く
		書き方10	強調して書く
		書き方11	まとまりを持たせて書く
ルール5	合わせて書く	書き方12	組み合わせで書く
ルール6	明確に伝わる文を書く	書き方13	具体的な文を書く
		書き方14	意味が明確な文を書く
		書き方15	能動態の文を書く
		書き方16	短い文を書く
		書き方17	肯定文を書く
		書き方18	文法を守って文を書く

次頁以降で、各ルールと各書き方の考え方について解説します。

## I. ルール1：冒頭に書く

■書き方の考え方：内容に関する主要なことを冒頭に書き，この主要なことに関する説明をその後に書くこと

■「冒頭（始め）に書くと内容がわかりやすくなる（内容が明確に伝わる）」という考え方に基づく書き方

■ルール1での書き方

書き方		書き方の考え方
書き方1	要点を冒頭に書く	内容に関する要点を冒頭に書き，この要点に関する説明をその後に書くこと
書き方2	全体像を冒頭に書く	伝える内容の全体像を冒頭に書き，伝える内容の詳細をその後に書くこと
書き方3	枠組みを冒頭に書く	枠組み（目的・方針・手順）を技術文書の冒頭に書き，この枠組みに対応した内容をその後に書くこと

## II. ルール2：ペアで書く

■書き方の考え方：2つのことをペア（対）で書くこと

■「2つのことを一緒に書くことで内容が明確に伝わる」という考え方に基づく書き方

■ルール2での書き方

書き方		書き方の考え方
書き方4	根拠を書く	書き手が決めたこと（決定事項）あるいは書き手が判断したこと（判断事項）を書いたら，決定事項あるいは判断事項とこれらの根拠を各々ペアで書くこと
書き方5	条件を書く	条件によって結果が変わる内容を書く場合には条件と結果をペアで書くこと

### Ⅲ. ルール 3 : 分けて書く

- 書き方の考え方：内容を分けて書くこと
- 「チャンク化<sup>注)</sup>」という考え方に基づく書き方

注) : チャンクとは、認知心理学の用語で情報のかたまりのような意味です。チャンク化とは情報を分離することです。例えば、「3690845271」を「369,084,5271」のようなかたまりに分けることです。

#### ■ルール 3 での書き方

書き方		書き方の考え方
書き方 6	かたまりに分けて書く	かたまりに分けて内容を書くこと
書き方 7	箇条書きで書く	箇条書きで内容を書くこと
書き方 8	表で書く	表で内容を書くこと

### Ⅳ. ルール 4 : 視覚的に書く

- 書き方の考え方：視覚的に内容を書くこと
- 「『見せること』で内容を明確に伝える」という考え方に基づく書き方
- ルール 4 での書き方

書き方		書き方の考え方
書き方 9	写真や図を入れて書く	内容に関する写真や図を入れて書くこと
書き方 10	強調して書く	重要な内容が目立つようにこれを強調して書くこと
書き方 11	まとまりを持たせて書く	一層明確に伝えるためにまとまりを持たせて内容を書くこと

## V. ルール5：合わせて書く

- 書き方の考え方：複数の内容を合わせて書くこと
- 「組み合わせることによって一層明確に伝わる」という考え方に基づく書き方
- ルール5での書き方

書き方		書き方の考え方
書き方 12	組み合わせる書く	ある部品（内容の要点，手順，箇条書き，表，写真，図）を一層明確に伝えるためにこれらの部品を組み合わせる書くこと

## VI. ルール6：明確に伝わる文を書く

- 書き方の考え方：内容が明確に伝わる文を書くこと
- 「ルール6はルール1～ルール5の基礎」という考え方に基づく書き方
- ルール6での書き方

書き方		書き方の考え方
書き方 13	具体的な文を書く	文を読んだときその内容が頭の中に浮かんでくるような具体的な文を書くこと
書き方 14	意味が明確な文を書く	意味が明確になるように必要な語句を忘れずに文を書くこと
書き方 15	能動態の文を書く	書き手が“考えたこと・判断したこと・思ったこと”を書く場合には能動態の文を書くこと
書き方 16	短い文を書く	簡潔でスリムな短い文を書くこと
書き方 17	肯定文を書く	肯定の内容で文を書くこと
書き方 18	文法を守って文を書く	①主語と述語が一致する文を書くこと ②修飾語と被修飾語の関係が明確な文を書くこと

以上